自分でできる自信をつける
～中学校進学にむけて～

鹿屋市立寿小学校
徳永みき

鹿屋市立寿小学校



鹿児島県鹿屋市

鹿児島市から海を隔てた
大隅半島に位置



鹿屋市立寿小学校

鹿屋市立寿小学校

全校児童 652名



１・２年生４学級
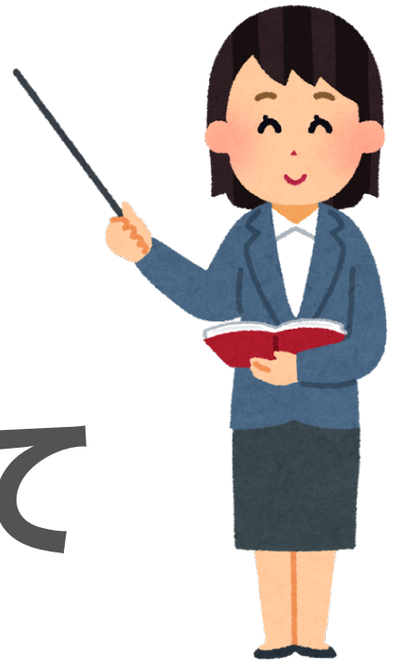
３～６年３学級

特別支援学級3学級

自閉症・情緒障害学級　1学級

知的障害学級　　2学級

本日お話したいこと



① 対象児Aさんについて

② 生活改善のために

③ 自信をつけるために

④ 苦手を解決するために

⑤ 中学校進学にむけて

対象児Aさん

- 小学校６年生 男児
  (小学校４年生から支援学級在籍)
- 軽度知的障がい
- 生活習慣が確立しておらず，遅刻欠席が多い。
- 何事にも自信がなく，コミュニケーションも苦手。
- 言語性が大きく下回り有意差を認める。
- 特に漢字に苦手感を抱えている。

小４年時，交流学級にて担任

対象児Aさんとの出会い

小学校４年生　交流学級にて

自信のなさから

・友だちと関わりたいが，，→
伝えたいことを手紙に書いて教師に渡し，
伝えてもらうのを待つ。

生活習慣が確立しておらず

・遅刻が多い。週始めは欠席がち。
・登下校は，母親の送り迎え。

交流学級担任としての関わり

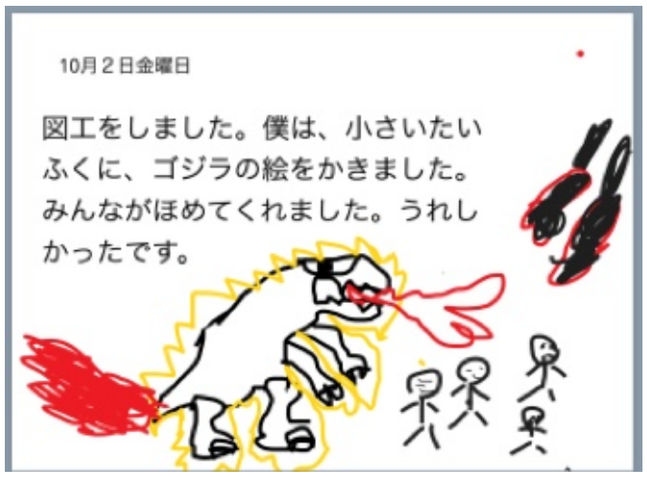
①　関係を支える

理解教育(彼の思いを伝える)



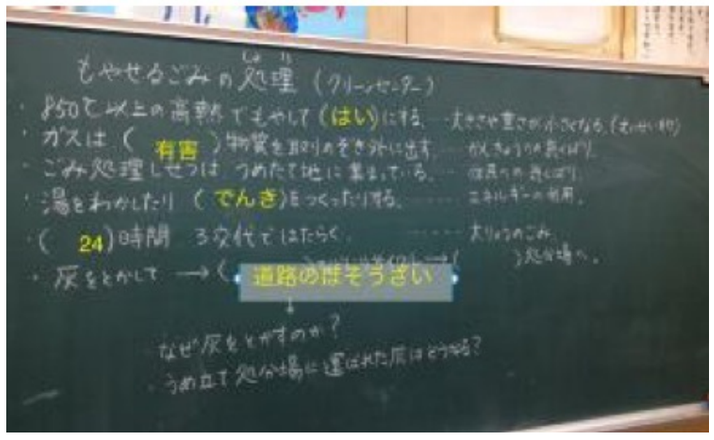
②　漢字の苦手意識を軽減

予測変換機能を用いた日記



③　授業中の負担軽減

書き込み式ノートテイク



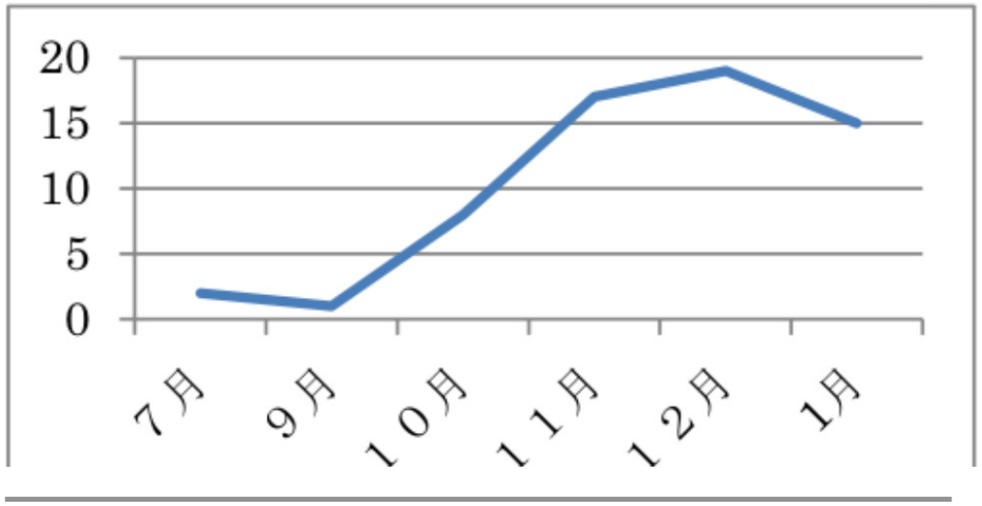
環境を含めた
支援

２０１５年度 魔法の宿題

交流学級担任としての関わり

その結果４年生後半

・友だちに自分から話しかけられるようになった。
・苦手な運動にも積極的に参加できるようになった。
・遅刻せずに登校できる日が増えた。



遅刻せずに登校できた日数

しかし，５年生になり，
少しずつまたもとの
自信のない彼に。。



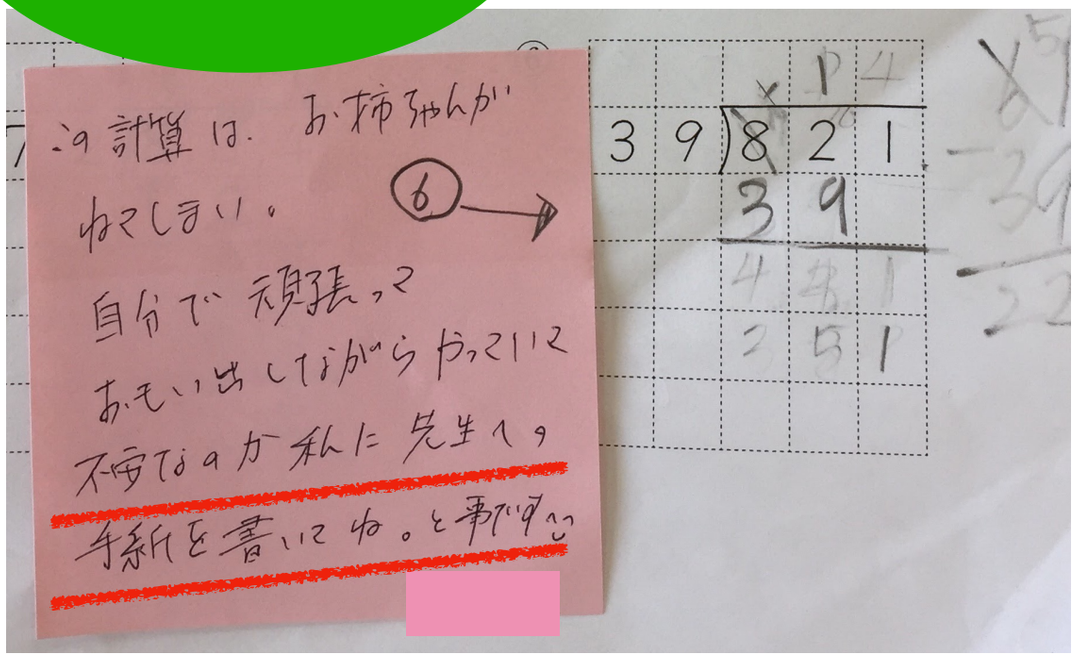
支援学級担任として

今年は支援学級担任

４月当初の連絡帳　お母さんからのコメント

友達とあったみたい。よくわかりませんが，難しいです。

自分で伝える事が出来ない



４月の登校率・遅刻せずに登校した割合

	登校率	遅刻せずに登校した割合
４月	70%	17%

支援学級担任として

来年は中学生

環境の変化に左右されないＡくんを目指して



今年の目標は

自分で何とかできる自信をつける！

生活改善のために

遅刻・欠席が多い理由

原因の１つは，，

就寝時間が遅い

・毎日２３時を過ぎている。

・宿題への取り掛かりが遅い。

そこで，

担任に宿題終了メールをすることで早めの行動を促す。

慣れてきたら予定アラームで自分で行動に移す。



アシストスマホの活用

生活改善のために

アシストスマホ

軽くて，
持ち運びが楽





選んだ理由

- アシストメールで定型文送信ができる。
- 必要なアプリだけ入れられ，シンプル。
- 管理者側から予定アラーム設定が可能。

実践内容

① 自分で起きる。 ➡ 目覚ましアラーム

② 宿題，明日の準備を早めに。 ➡ 担任に報告メール

③ 準備を自分でする。 ➡ 写真，持ち物リスト

生活改善のために

就寝時刻を早くするために

結果は口頭で確認

記録でも確認

	5月	6月	7月	9月	10月	12月
自分で	放課後スケジュール表の自己作成			就寝時刻の自己記録		
教師と	アシストメールによる教師へのメール			予定アラーム設定		
追加したこと				ベッドで遊ばなかったらご褒美シール		

ベッドの上で遊んで過ごす→昼寝をしてしまうんだ！



生活改善のために

アシストメール（定型文)



メール内容

宿題をこれから始めます。
宿題が終わりました！
明日の準備，終わりました。
おやすみなさい。

実際に送られてきたメール

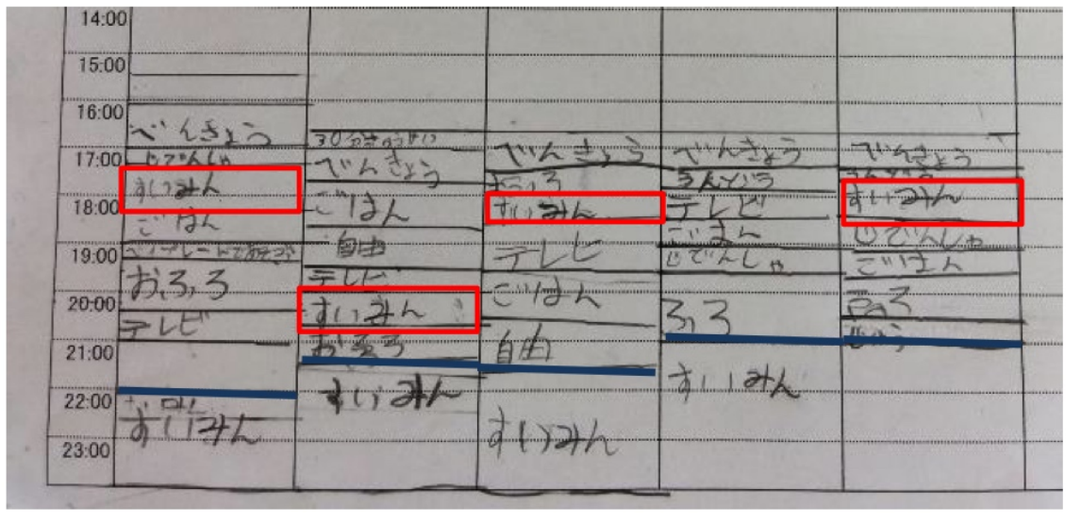


生活改善のために

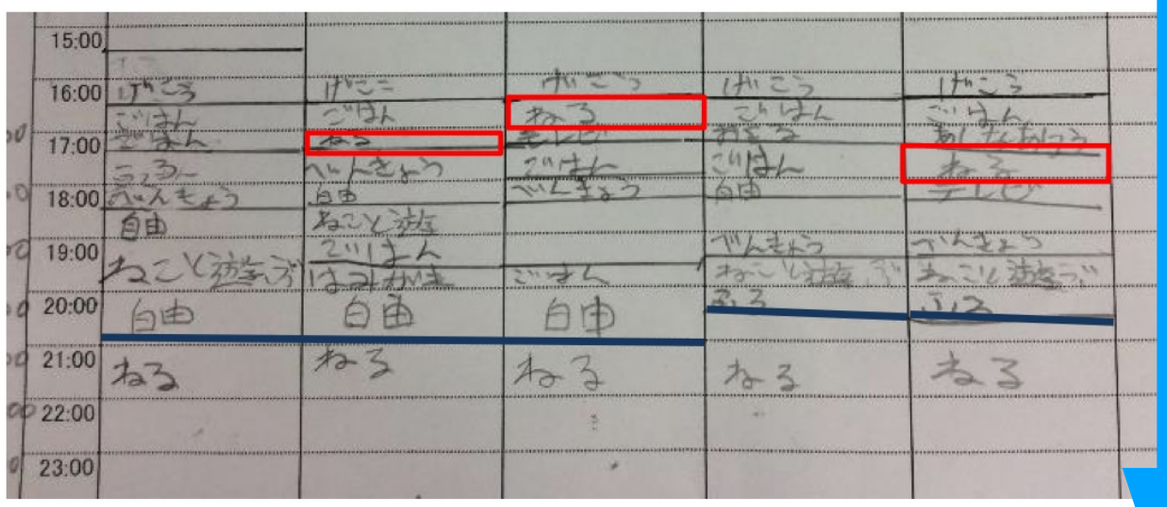
5月～9月放課後スケジュール表の自己作成

6月より担任への
報告メールスタート

〈5月〉



〈9月〉



5月・・・就寝前に，仮眠（すいみん）をほとんど毎日１時間程度挟む予定を計画

9月・・・仮眠（ねる）の計画の回数が減り，各時間も３０分ほどに減って

しかし９月平均
21:39宿題終了

5月・・・就寝時間目標（平均）２１：２０

9月・・・就寝時間目標（平均）２０：４５

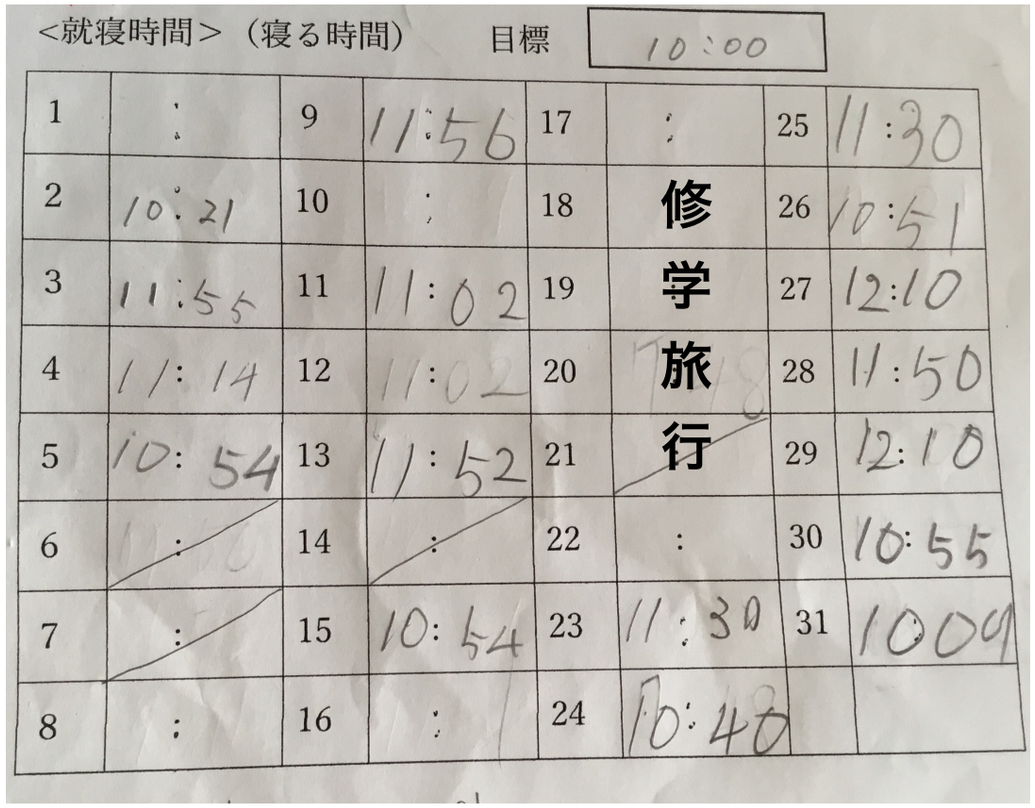
仮眠ではなく，就寝時間を早めようとする
意識が高まりつつある

その結果・・・・遅刻が減ってきた。

生活改善のために

１０月より就寝時刻の自己記録

〈１０月〉



〈１１月〉

ベッドで遊ばなかったらシールを貼る



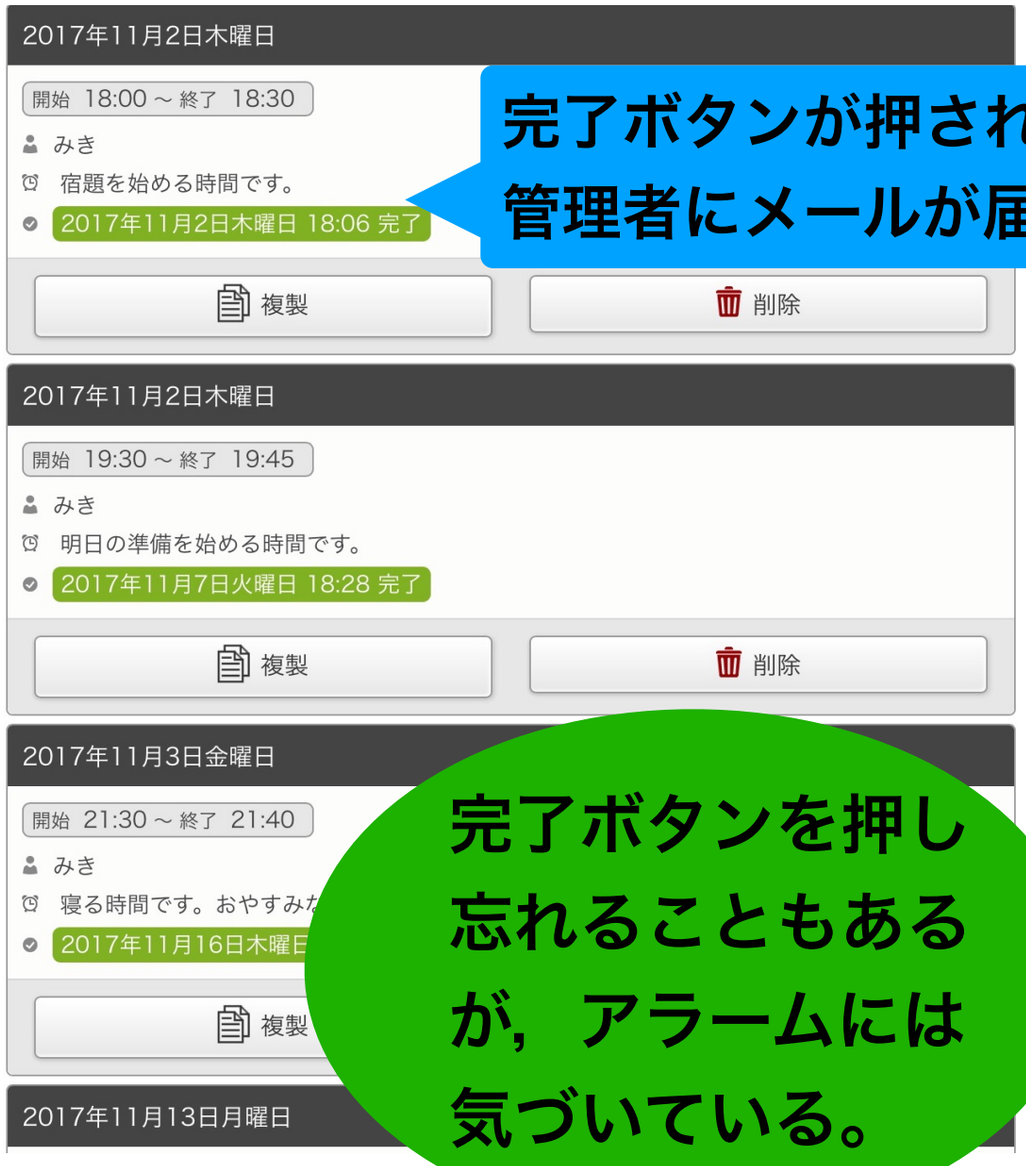
平均就寝時刻：午後11:14 → 午後10:16

少しずつ就寝時間が早くなってきた。

生活改善のために

１１月よりアラーム設定での自己管理スタート　＆
寝るまでベッドに行かなかったらご褒美シールスタート

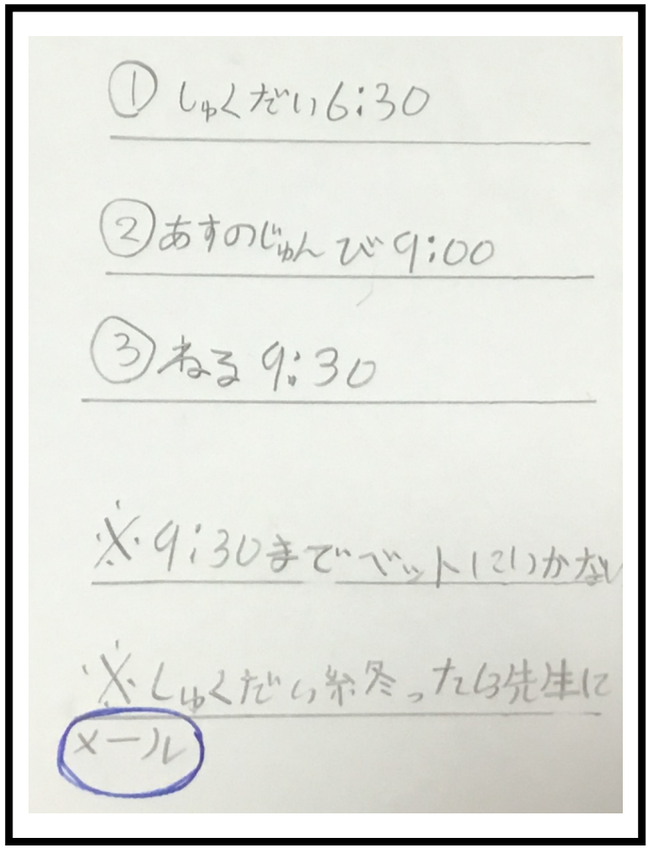
〈アラーム設定〉(管理者側)



完了ボタンが押されると管理者にメールが届く。

完了ボタンを押し忘れることもあるが，アラームには気づいている。

〈Aくんの決めた目標〉



教師へのメール送信と併用することに。

生活改善のために

メールでのエピソード①

一昨日 19:58



宿題スタート
宿題をこれから始めます。

一昨日 21:14



宿題が終わりました！

関心！おやすみ！

感心！

今日 19:21



宿題
徳永先生たぶんわいるたんぽぽにわすれたかました

ちゃんと伝えられたね。

漢字がんばってね。終わったらまたメールちょうだいね。

宿題の入ったファイルを学校に忘れた事を自分から伝えられた。

メールでのエピソード②

Thu, 18:42



宿題スタート
宿題をこれから始めます。

Thu, 19:35



宿題
普通で調べてもでなかぢたからにゅうすてゆうやつでしらべ手も出ませんでした

Thu, 19:53

わかりました。がんばって調べる方法を考えたんだね。そのまま持ってきていいよ。

今日は早く宿題始められたね！



はい分かりました。

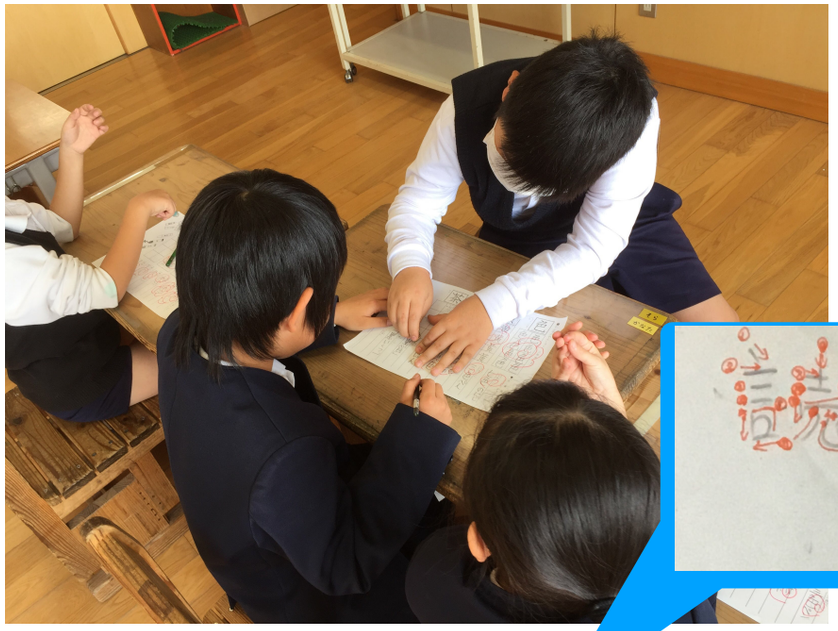
Thu, 20:37

がんばれ！今日は早く寝れるかな？

「先取点」の意味調べの宿題を自分なりに工夫したが，調べられなかった事を伝えられた。

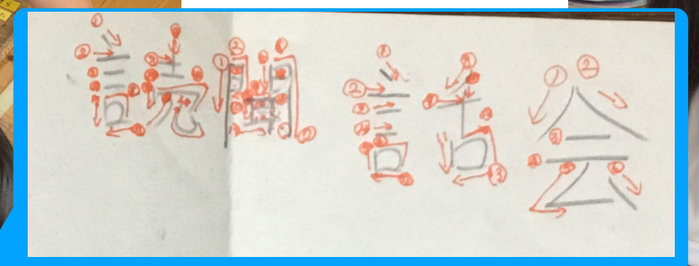
自信をつけるために

①　人に教えて自信をつける　　漢字を教えたり，読み聞かせをする。

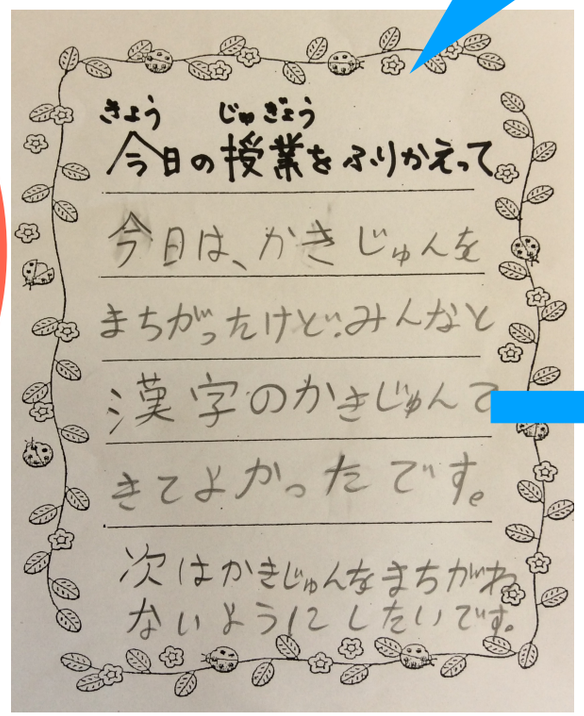


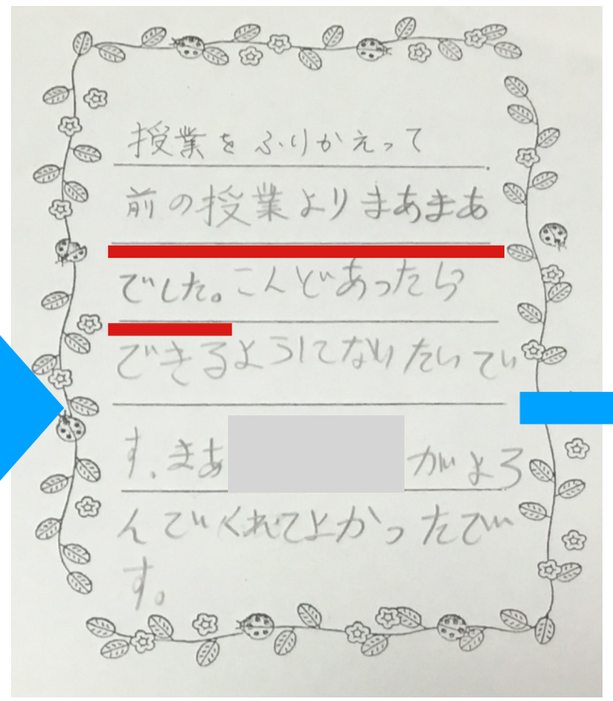
この後
こっそりと
予習

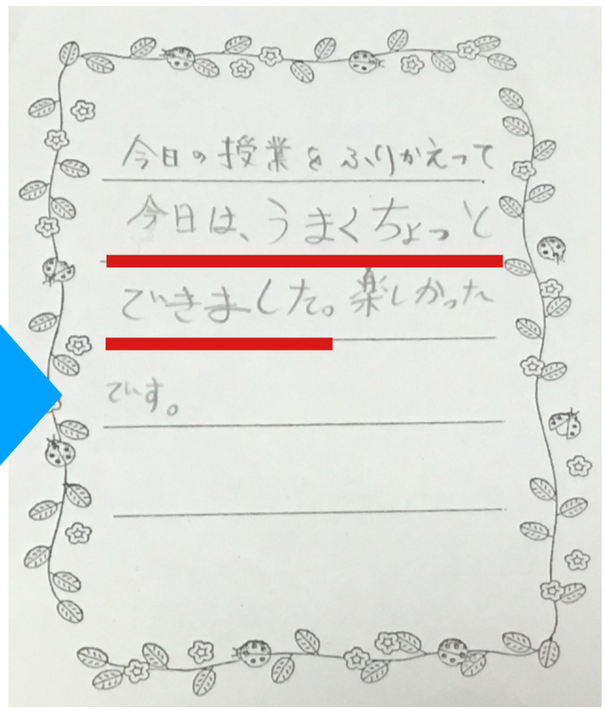




自信が少
しずつつ
いてきた。







自信をつけるために

② ストレスマネジメントの方法を知る

学期始めのAくんの様子

友だちとのトラブル

目を真っ赤にして座りこむ。

教室を飛び出してしまう。

気持ちの切り替え方や対処方法がわからない。



実践内容

困ったことが起きたら，スモールステップで考えて，次に生かす。

自信をつけるために

②　ストレスマネジメントの方法を知る。

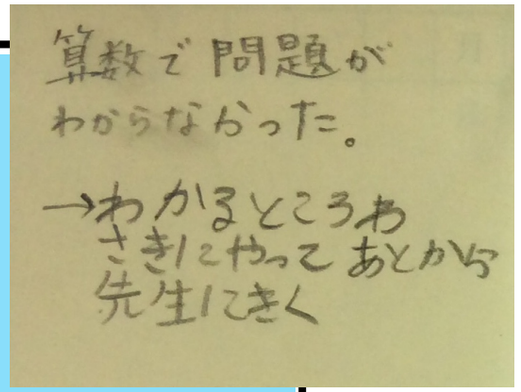
❶　ストレスがかかった出来事を書き出す。

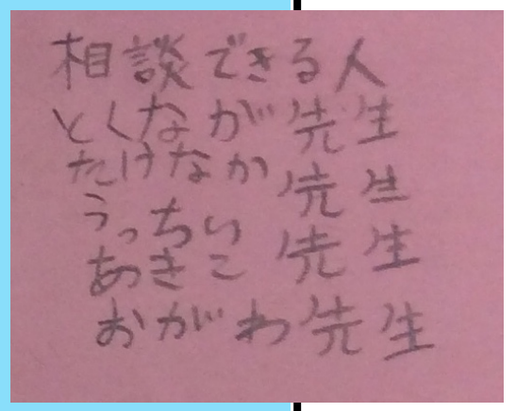
❷　人に伝える。

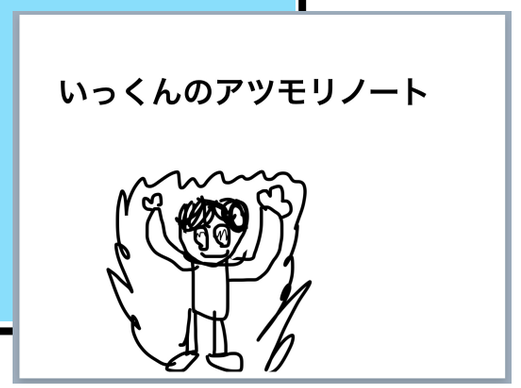
❸　サポートしてくれる人を増やす。

❹　何かあった時どうすればいいかイメージする。

❺　自分ノートにまとめる。







自信をつけるために

②　自分ノート

いっくんのアツモリノート



使用アプリ

Book Creator

ipadでまとめていく。
プリントアウトして絵本台紙に貼っていく。

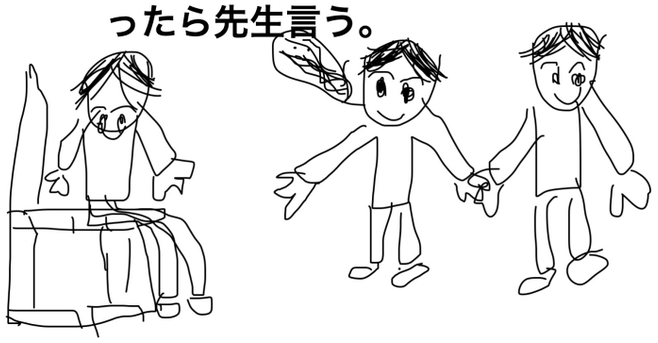
選んだ理由

・4年生時から使用のため慣れている。
・字で書くよりきれいにまとめられる。



友だちに何か言われたら

友達と話してまとまらなかったら先生言う。



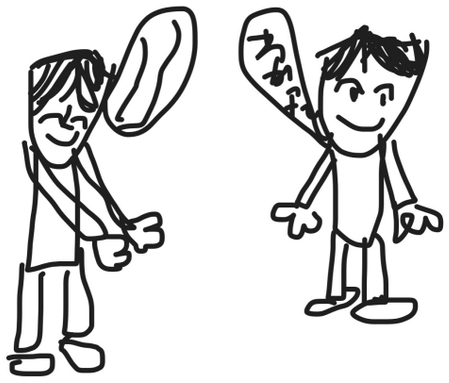
テストの点数が友達より悪かったら

気持ちを整理するため離れる

落ち着いたら教室戻る



人に注意されたら分かったと言う



自信をつけるために

いつの間にか
メモ帳を自分で用意



自分なりの解決方法

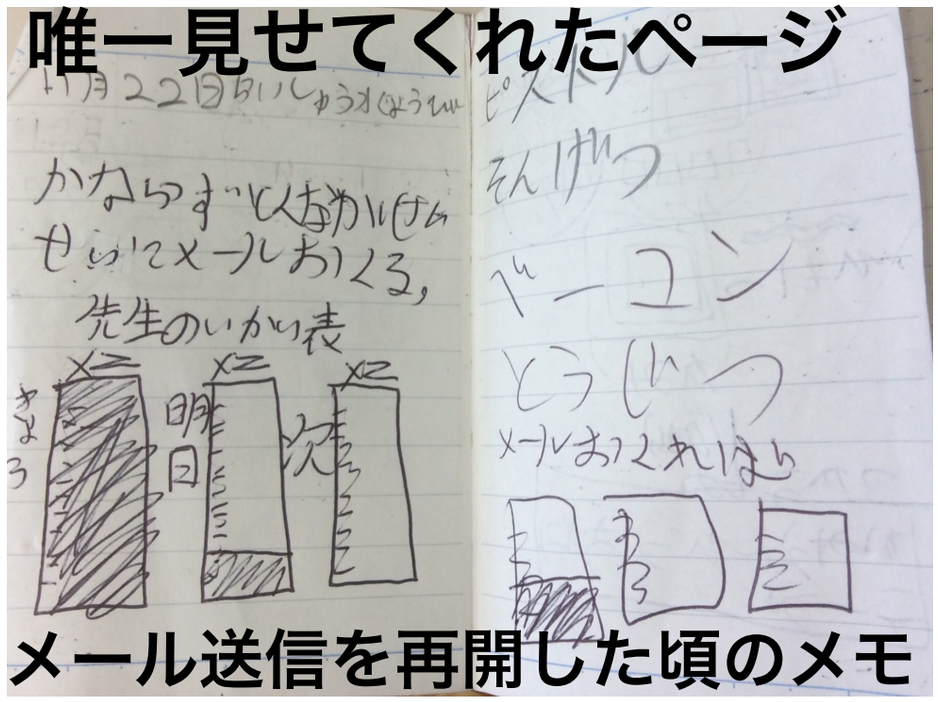


何を書いているの？



忘れたらいけない時とか，何かあった時書くためのノート

唯一見せてくれたページ



メール送信を再開した頃のメモ

苦手を解決するために

漢字が読めない

漢字が書けない



やりたくないなあ。

分からなければ
調べればいいんだ。



やってみよう。

実践内容

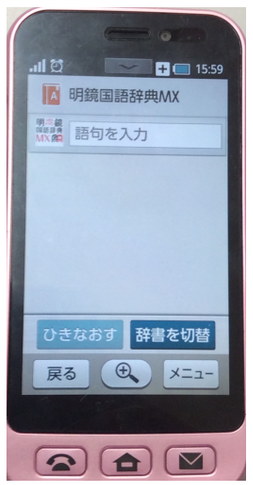
分からない漢字を自分で調べる。

ipadのアプリ

漢字検索　筆順辞典　もじかめ　こどもテキスト

アシストスマホ

明鏡国語辞典MX



苦手を解決するために

漢字を書く時



アシストスマホ

明鏡国語辞典MX

- 家庭で日記を書く時
- 漢字テストのやり直しの時

読み方を調べる時

漢字検索　**筆順辞典**

- 熟語が分からない時
- 書き順が分からない漢字を調べる時

文章にルビを振る時

もじかめ　**こどもテキスト**

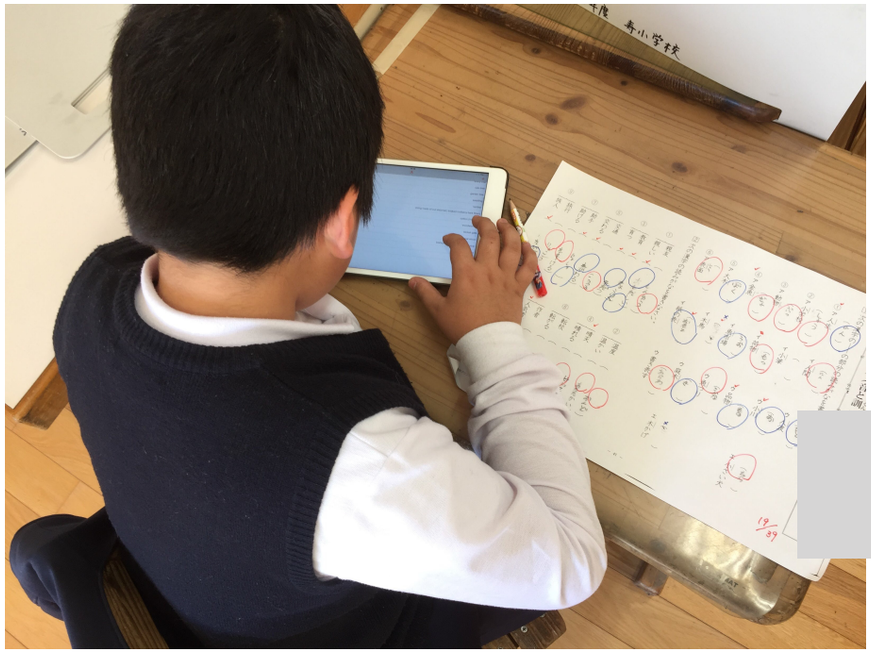
- まとまった文章を読みたい時

① →テキスト化

② →3年生以上の漢字の読みを変換

苦手を解決するために

「印刷」はどう読むのかな？





正しく書ければ候補が出てくる

字

那
深
処
没
滑



正しく漢字が出てこない時は

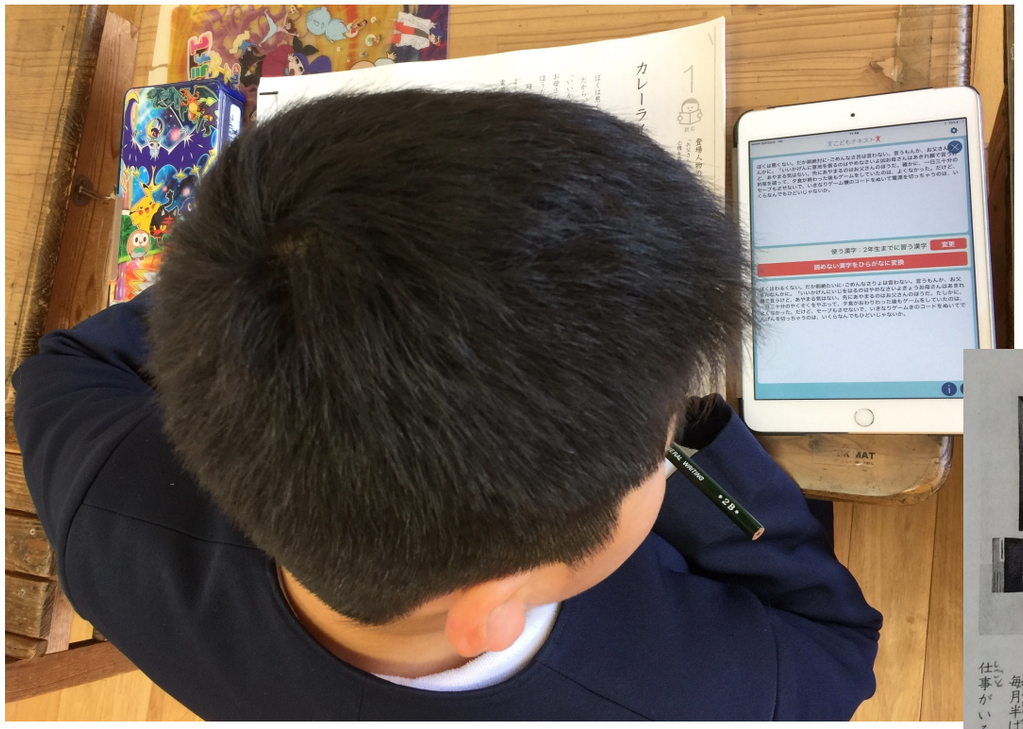
筆順 常用漢字

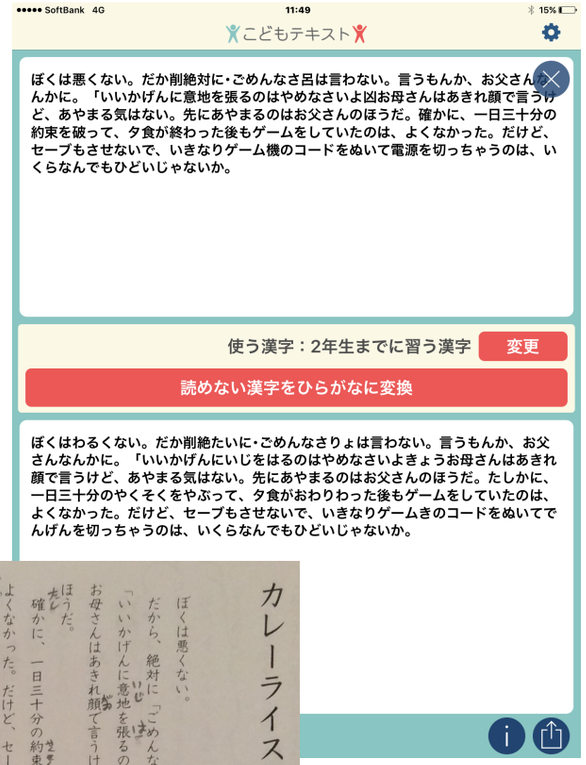


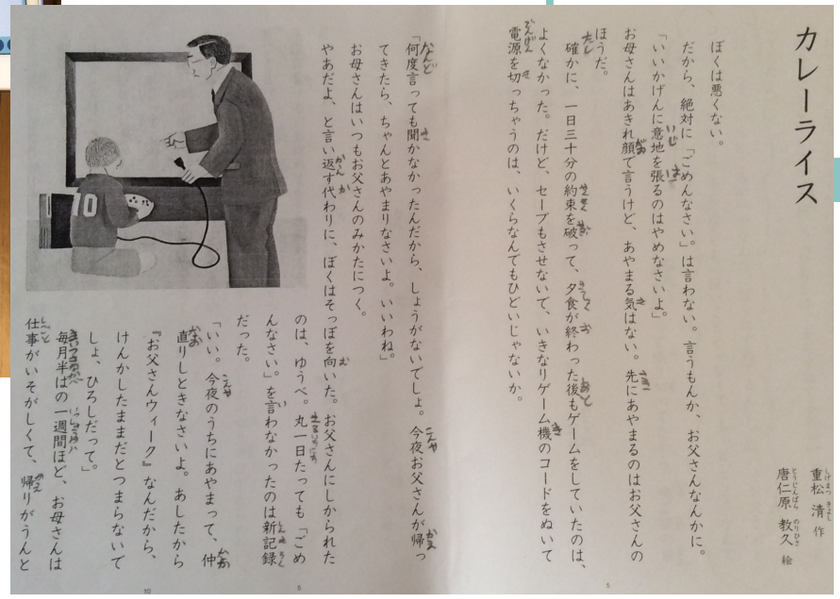
「印」と「刷」を調べる。

苦手を解決するために

文章にルビを自分で打つ。
～6年生の教科書を読んでみよう～





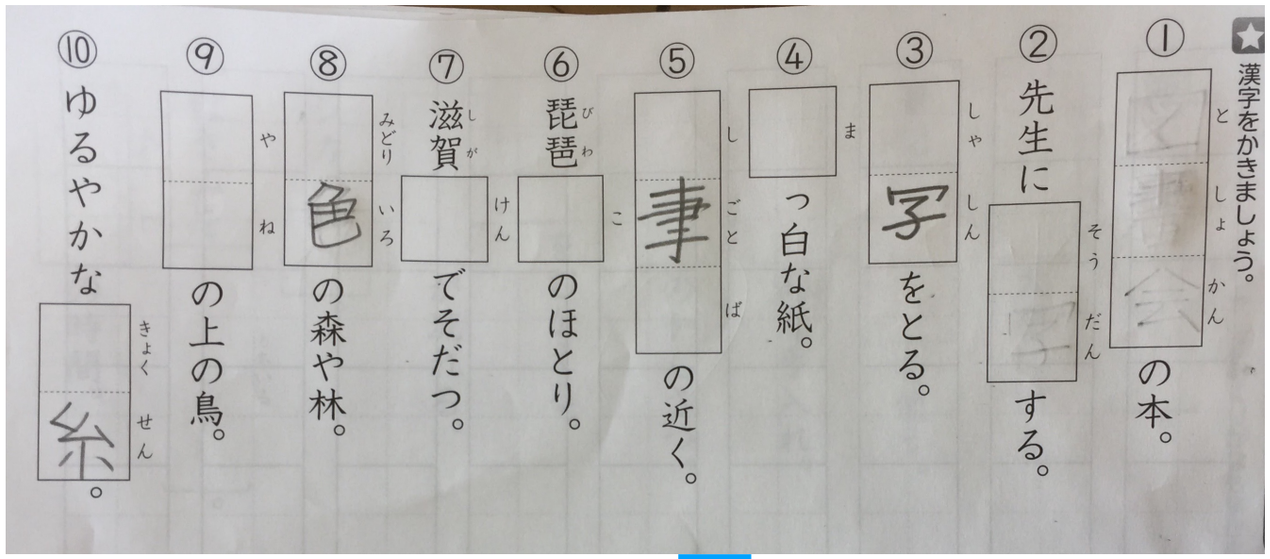


・６年生の教科書を読むことができたことで，やれば出来るという自信が持てた。社会の学習でも自ら同じ方法で読もうとする意欲が見られた。

苦手を解決するために

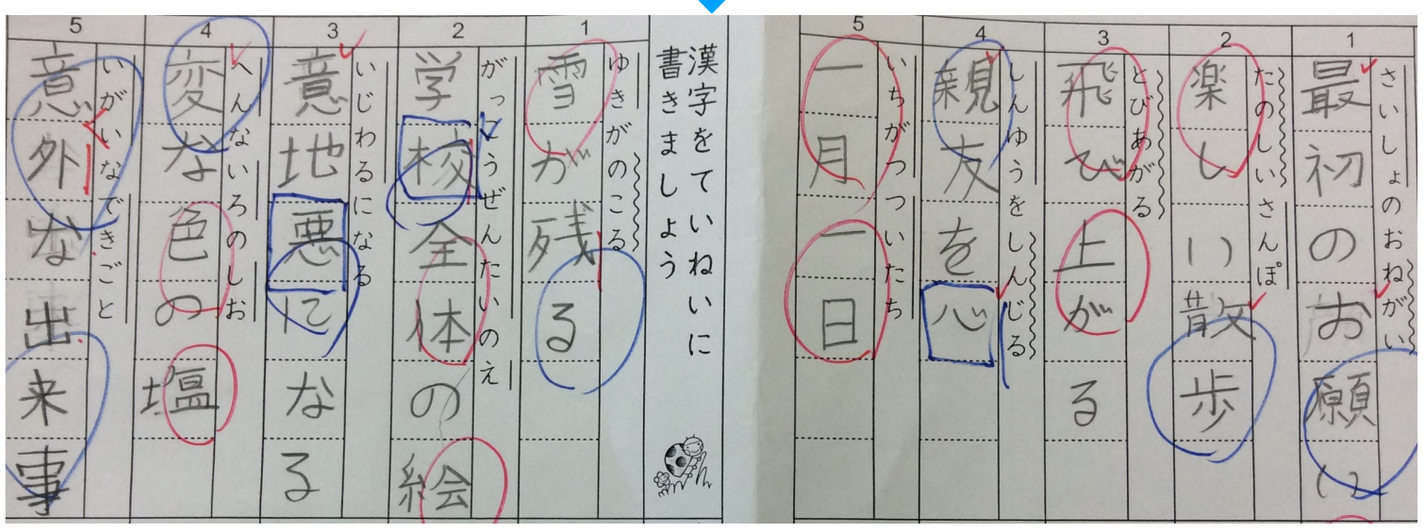
・**漢字テストにも意欲を見せるようになってきた。**

〈４月〉



書いた漢字も消してしまう。

〈１２月〉



赤丸・・自分で書けた字

青丸・・調べて書いた字

中学進学に向けて

① 中学校の先生との授業





中学校の先生と支援学級での交流授業。

② 中学校の見学





中学校の特別支援学級の見学。

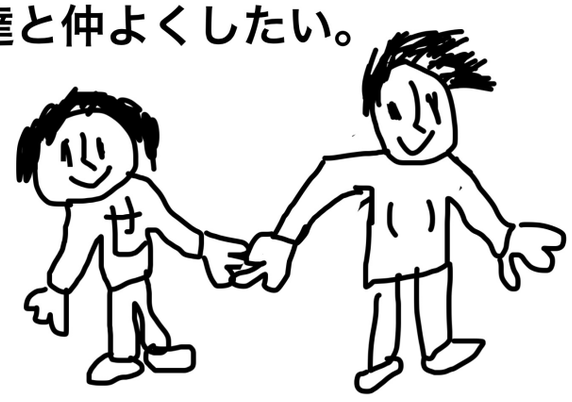
中学進学に向けて

・中学校の先生に帰宅時間や部活動の事など気になっている事について話を聞けて安心した。

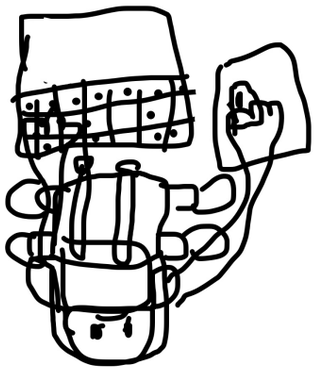
・見学する事で，中学校に進学してからの自分をイメージする事ができた。

〈いっくんのアツモリノートより〉　～中学校に向けて編～

先生としんらい出来たら友達と仲よくしたい。



パソコンクラブ💻には入ってローマ字の入力が出来るようになりたい。



中学生で理科ができるようになりたい。



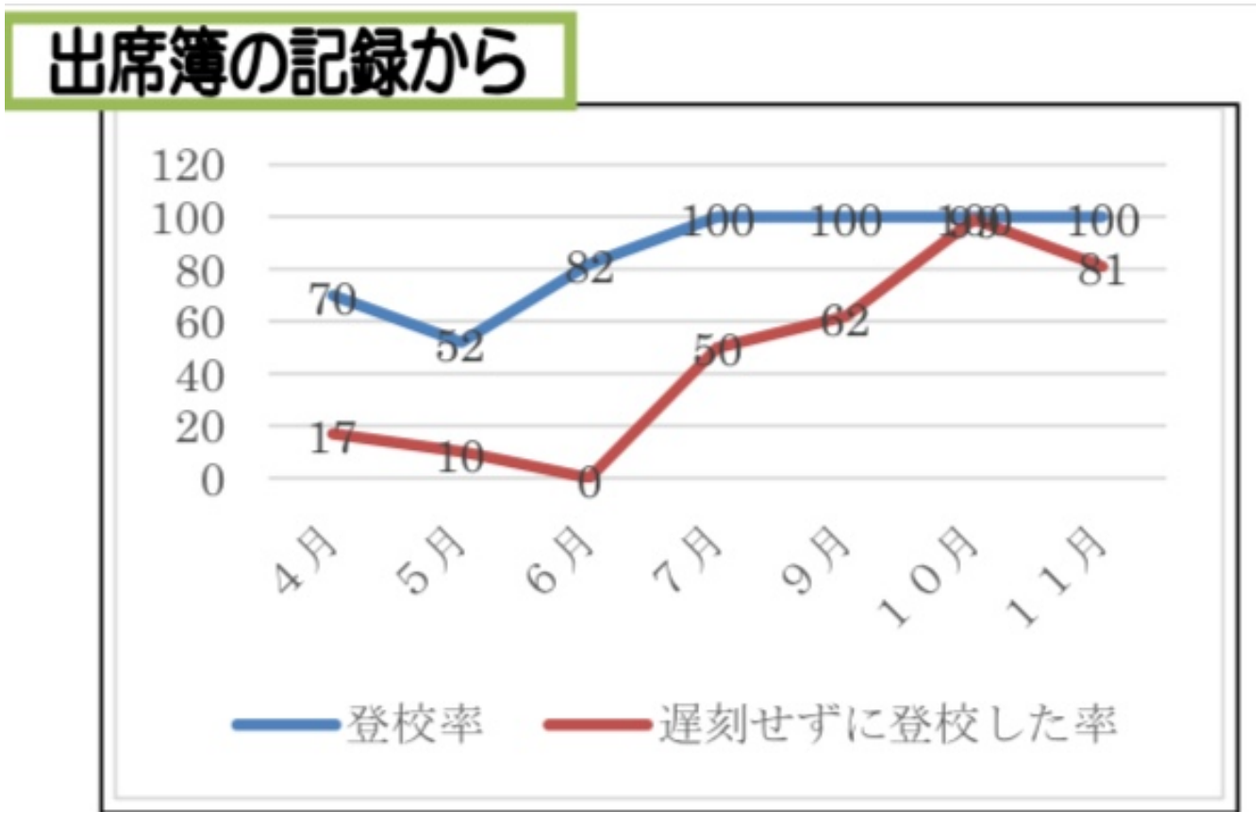
児童の変容

・週末明けの欠席がほとんどなくなり，遅刻することも少なくなった。

・宿題を毎日提出できるようになった。

・歩いて下校するようになった。

・早めの就寝を心がけるようになった。



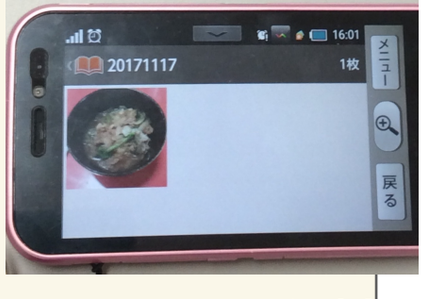
・何かあった時も「大丈夫」ということが多くなった。



児童の変容

連絡帳の記録より

５月～７月	・友達と何かとあり，でも行ける所ができたことで落ち着いてきたかな。 ・昨年の○○はどこへ?と思うぐらいに。 ・留守番してくれました。 ・宿題をしているのでびっくりしています。 ・下校も毎日一人で帰ってきます。遅いとドキドキしますが。
9月～12月	・ここ数日はお友達と下校したり。今を大切にしたいな。 ・「大丈夫。」と言って。本当に前とちがって，友達と仲良くしたりケンカしたり，よくがんばっていると思います。 ・今家で料理を作ってくれます。 ・私が帰ってくる前に寝ている事が多くなりました。(母親仕事で22時帰宅のため) ・先生と走るんだと。(朝のかけ足運動)

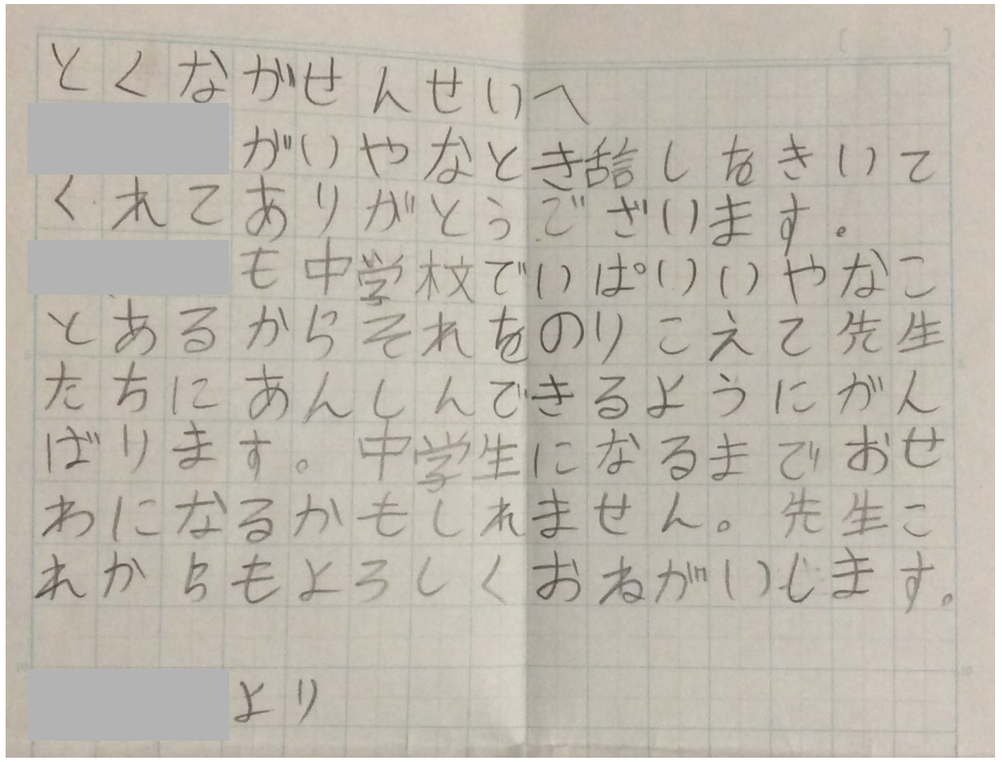


写真で見せてくれた料理

今後の課題

・ベッドで過ごす時間を減らし，今の就寝時刻を継続できるような工夫を卒業までAくんと一緒に考えていきたい。

・中学校への引き継ぎとして，サポートカードを含めて移行支援を行なっていきたい。


とくなかせんせいへ
[redacted]がいやなとき話しをきいてくれてありがとうございます。
[redacted]も中学校でいばりいやなことあるからそれをのりこえて先生たちにあんしんできるようにがんばります。中学生になるまでおせわになるかもしれません。先生これからもよろしくおねがいします。
[redacted]より

Aくんからの手紙

ご静聴ありがとうございました。